

## 外貿コンテナ貨物の歴史と現在の姿

### 外航商船8,000隻達成!

石狩湾新港では、本年3月に入港した「HEUNGG-A SARA H」号が、平成6年6月の関税法上の開港以来8,000隻目にあたる外航商船となったことから、6月の同船入港時にセレモニーを開催しました。

8,000隻到達は開港から27年9ヶ月と道内他港湾と比較しても早いペースで推移しており、特に近年はコンテナ船が外航商船の入港の約5割を占めるなど、高い割合で推移しています。

今回は、そのコンテナ船に着目し、外貿コンテナ貨物の歴史と現況についてご紹介します。

### 外貿コンテナ貨物の現況

本港における外貿コンテナ貨物の取扱いは、平成9年に興亜海運（現興亜シーNE）が外貿定期コンテナ航路を開設したことから始まりまりました。

現在、コンテナヤードとして利用している花畔（ばんなぐる）埠頭は、当時、鉄スクラップの保管等で利用されていましたが、興亜海運の航路開設時にコンテナヤードとしての利用がス



8,000隻到達を記念し、記念品を贈呈

重要港湾外貿コンテナ取扱個数  
(上位10港：令和2年)(単位:TEU)

港湾	合計
1 那覇港	85,178
2 志布志港	75,711
3 三島川之江港	73,842
4 福山港	68,469
5 秋田港	63,373
6 伊万里港	62,568
7 金沢港	62,234
8 石狩湾新港	58,776
9 高松港	37,979
10 八戸港	35,951

石狩湾新港管理組合作成

スタートしました。その後、平成15年に高麗海運、平成27年に長錦商船、令和2年には南海海運が航路を開設し、航路の増加とともに外貿コンテナ取扱個数は着実に増加しており、北海道内では苫小牧港に次ぎ2番目の取扱個数であります。

本港の外貿コンテナ取扱個数は、全国に102港ある重要港湾の中で上位8番目(令和2年実績)に位置しています。

### 増加するコンテナ

コンテナ貨物の増加は、本港が札幌圏に最も近い港であり、北日本最大級の冷凍冷蔵倉庫群が港湾に近接していることや、各船舶代理店の積極的な営業活動等により、本港の利便性が利用者の皆様に少しずつ浸透してきたものと考えています。



コンテナヤードの除雪の様子

コンテナ船荷役作業

### 大雪にも負けない

北海道の日本海側に面している本港は、国内でも積雪の多い地域であります。特に今年、北海道は記録的な大雪に見舞われましたが、本港では雪が降った翌朝にはコンテナヤードに除雪車が出動し、除雪後は路面凍結対策として氷を溶かす融雪剤を散布するなど、冬期間の荷役作業やコンテナの搬出入に支障のない態勢を整えており、今年の大雪でも荷役作業に大きな影響が無く、コンテナヤードの運営を行うことが出来ました。

これからも本港では、年間を通して万全の態勢を整え、確実なサービスを提供し、札幌圏の物流を支えていきます。

### 中国向け米輸出順調!

本港では、平成30年度から中国向け米の輸出実績がありますが、令和3年度の輸出量は692トンとなり、当初に比べ約2倍となっています。

その要因として、輸出するための厳しい基準をクリアした安心・安全な日本産精米が中国で浸透してきたことが挙げられます。

中国向けに米を輸出するには、精米、くん蒸とも政府から施設の指定を受けなければならず、道内では、精米工場の「ホクレンパルライス工場」と、くん蒸施設の「小樽倉庫事業協同組合・石狩湾新港倉庫事業協同組合」のみが指定を受けており、どちらも本港に近接していることから輸送時間の短縮や輸送コストの削減が可能といった利便性の高さが評価され、輸出量の増加に繋がっています。

中国向けの日本産精米は、北海道からは本港と小樽港から輸出されており、両港を拠点として、今後も輸送量の増加が期待されます。



くん蒸後の中国へ輸出される米  
(小樽倉庫事業協同組合・石狩湾新港倉庫事業協同組合倉庫)



木質ペレットの荷役作業

本年4月18日、石狩バイオエナジー合同会社が9月からの営業運転を予定している石狩新港バイオマス発電所向けの燃料となる木質ペレットを載せた船が、東南アジアから本港樽川埠頭に到着しました。今回輸入された燃料は、試験のためのものでありますが、本港での初荷役であることから、多くの関係者が埠頭に集まりました。

荷役機械の大型ホッパーや、燃料を発電所まで運ぶダンプは、この日のために手配された新品で、真新しい輝きを放っています。

この荷役機械を使って大規模な荷役が数日間行われ、無事約10,000トンの木質ペレットが発電所に運ばれました。

発電所では、この燃料をどのように利用しているのか、今回、同社にお願いして試験中の発電所を見学させていただきました。

## バイオマス発電所燃料受け入れ始まる！



石狩新港バイオマス発電所全景 (石狩バイオエナジー合同会社提供)

発電所に到着すると、建物の大きさにビックリ！約5haの敷地にボイラーやタービン、燃料を保管するための燃料貯留槽等の大型発電施設がそびえ立っています。施設の特徴としては、積雪寒冷地である北海道の気候条件に適した仕様になっており、厳しい冬を乗り越え、安定して私たちに電力を届けてくれることでしょう。

ちなみに、年間で一般家庭約12万世帯分に相当する電力を発電することです。

同社からは、地元自治体である石狩市が目指す「再エネ100%エリア」の実現に向けた取り組みとも連携し、脱炭素社会の実現に向け地域に貢献していくと伺っています。

2019年の冬に工事着工してから2年以上の時を経て姿を見せたバイオマス発電所。同発電所は営業運転開始後、本港を利用して定期的な燃料の輸入が予定されていることから、取扱貨物量の増加が見込まれています。



広大な駐車場には大型トラックがたくさん！(新港南店)

### 広大な駐車場！

お昼時、たくさんのお客様の大型トラックで賑わうセイコーマート新港南店。

石狩湾新港地域には、5店の「セコマ」が立地しており、港で働く労働者をはじめ、地域内の大型物流センターに入りするトラックドライバー等でいつも混み合うため、どの店舗も駐車場が広いことが特徴です。

さらに、今回お邪魔したこのエリアには、セコマのほか、ガソリンスタンドが併設しており、給油だけでなく、大型車専用の洗車機や、ドライバー専用のシャワー室が利用出来るなど、ドライバーさん達には大人気！

では、そろそろ店内に入ってみましょう！



毎日お店で手作りのホットシェフ



石狩湾新港地域の注目スポットや北海道の魅力をお伝えする「ぶ・ら・り しんこうの旅」。

今年4月から管理組合に配属となった私が、その目線で色々な情報をお届けします。

さて、記念すべき第一回は、北海道を代表するコンビニであり、コンビニ部門の顧客満足度6年連続第一位と、今や全国的な知名度を誇るセイコーマートをご紹介します。



労働者の皆さんの胃袋を満たすお弁当がズラリ！

### セコマといえば...

おっ、あれはホットシェフ。毎日お店で手作りしているためどれも温かくて美味しそう。定番商品のカツ丼を発見！これで540円は安い。今日のお昼はこれで決まり！ただ、大きなおにぎりも美味しそう。すじこ良いなあ。お肉が柔らかそうなフライドチキンも食べたいけど、もう手にはカツ丼が...

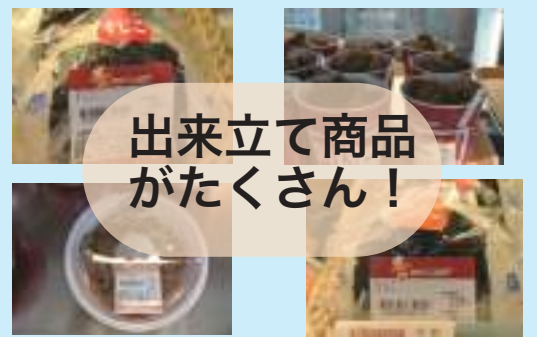
早速食べると、柔らかい口ース肉に卵がフワトロにとじてあり最高に美味しい！しかもボリューム満点！昼からもエネルギーに仕事ができそう！

他にも魅力的な商品が品数豊富に揃っていて、忙しいドライバーさんや港湾労働者の方々も満足間違いなしです。「こんなに美味しいホットシェフの商品を皆様にご賞味いただきたい。」

そうだ、6月に大阪で当組合が主催する「第3回関西物流展」で来場者の皆さんに振る舞ってはどうか！



大人気のカツ丼。ボリューム満点！



出来立て商品  
がたくさん！

「商品が冷めちゃう、賞味期限、輸送費...」上司にあっさり却下されちゃいました(泣)。

ということで、北海道にお越しの際は、是非セイコーマートの美味しいホットシェフの商品をご賞味ください。ちゃっかりイベント出展の告知もさせていただきますが、これからも皆様に石狩湾新港地域の魅力などをお届けさせていただきますので、次回もお楽しみに！